

動脈硬化症の検査の奨め

アテローム血栓症とは？

動脈硬化によって生じた血栓が飛んで体のあちこちに詰まって脳梗塞、心筋梗塞、狭心症、抹消動脈閉塞などを起こすものです。アテローム血栓症は症状が出たときは完成であり、それまでは血管が狭くなっても全く症状が出ません。

先ずは血圧脈波検査を

血圧脈波検査は動脈硬化の有無を判断する最も簡便で有用な検査です。両手と両足の血圧を測定して血液の流れを調べます。

何が分かるのか？

血管の硬さを見ると同時に、心臓から足、特に下半身の血管に詰まりがあるかを判定します。アテローム血栓症は全身の血管に病変がきます。下半身の血管に異常がある場合は他の部分の血管にも異常がある確率が高いので、他の部分にもアテローム硬化がある可能性が高くなります。

どんな人が受けたら良いか？

全ての高齢者と喫煙者は一度は検査する方が良いと思います。糖尿病、高脂血症、高血圧などの生活習慣病を有する患者さんは必ず調べることをお勧めします。

検査は？

普通の心電図と同じです。両手、両足に血圧測定用のマンシエットを置いて測定します。時間は5分程度です。

予約と検査代は？

予約は不要です。検査代は保険適応があり、1割負担で150円程度です。